

ダムの風だより



国土交通省 大町ダム

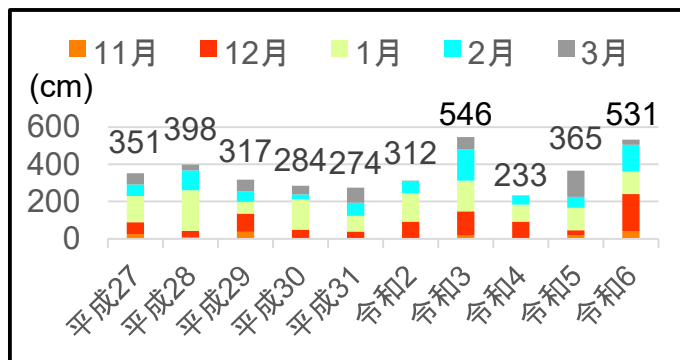
”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！



～ 今冬の大町ダム ～

右のグラフは、大町ダムの過去10年間、年度別の降雪量をグラフ化したものです。令和6年度累計降雪量（3月11日時点）は531cmと過去10年間で2番目に降雪量が多く、特に12月の降雪量は200cmとなり、ダム完成（昭和60年）より観測を開始してから3番目に多い数値となりました。

以上のように、今年度は比較的に大雪となり、春になると降雨や気温の上昇による融雪で、河川の流量が多くなることが予想されますので、河川に近づく際は十分ご注意ください。



【過去10年間 年度別降雪量（大町ダム地点）】

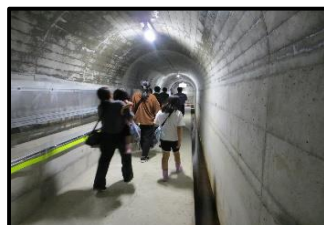
順位	年度	積雪深
1	平成17年度	334cm
2	平成26年度	290cm
3	令和6年度	200cm
4	平成19年度	141cm
5	平成16年度	136cm

【ダム完成（昭和60年）以降12月降雪量TOP5】

～ ダム内部見学 ～

大町ダムでは、一般の方が普段なかなか見ることのできないダム内部（監査路）を見学することができます。見学は、大町ダム職員等が説明・ご案内しますので、前日午後4時までに大町ダム管理所総務係までご連絡ください。詳細及び大町ダムについての情報については下記リンク先・QRコードよりご確認ください。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>



【内部見学の様子】

受付：電話受付 0261-22-4511（前日午後4時までの受付）
 期間：土日祝日を除く月曜日から金曜日（12月から3月の冬季は除きます）
 時間：午前：9時30分～11時30分 午後：1時～4時 の30分程度
 人数：1グループ6名まで（午前2グループ/午後3グループまで）

※人数が多い場合は事前にご相談ください。

※洪水警戒体制時およびダム点検時等により、案内の体制がとれない場合は、見学を休止いたします。



ダムの維持管理に努めています！

大町ダム管理所では常にダムの機能を発揮できるよう、機械設備・電気通信設備やダムの堤体について様々な点検・整備を行っています。今回は、その様子の一部を紹介いたします。管理所が無になることはなく、カメラなどを使って365日24時間、監視員がダムに異常がないか監視しています。また、震度4以上の地震が起こった場合は臨時点検を行い、安全の確保に努めています。



堤体の漏水点検



ダム湖内の巡視点検



気象観測装置の点検



機械設備の点検



地震時の臨時点検



警報装置の点検



大町ダムでは、陸上からの点検ができない施設の状況把握、ダム湖法面の崩落や水面の流木の状況確認のため、巡視船「さいりゅう」で湖面巡視を行っているよ。

カメラの更新工事を行いました！

大町ダムでは、ダムから放流を行う際に河川内に人や車が残っていないかの確認、渇水時に高瀬川の流れが途切れてしまわないかの監視などを目的として、高瀬川沿いなどに計15台カメラを設置しています（右図）。その中でも設置から15年経過し老朽化が進んでいた高瀬下橋・松川・池田・鹿島川・大町ダム（ダム天端）の計5箇所の更新を行いました。新しいカメラは以前よりも解像度が向上し、映像が鮮明になっているため、以前より河川の様子を確認しやすくなりました。カメラ画像は大町ダム管理所HPまたは国土交通省川の防災情報で閲覧可能です。



国土交通省 川の防災情報

【トップページ】



大町ダム管理所HP

【ライブカメラ映像】



大町ダム管理所HP（ライブカメラ）

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平2112-71

TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512 <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

